

神の言葉——食物としての神聖な供給

聖書：エレミヤ 15:16. 申 8:3. マタイ 4:4.

ヨハネ 5:39-40. 6:50-51, 57, 63. コロサイ 3:16

I. 「あなたの言葉が見いだされて、わたしはそれを食べました」——エレミヤ 15:16 前半：

- A. 聖書にはまず神があり、それから神の語りかけ、すなわち、神の口から出る言葉があります——創 1:1, 3. マタイ 4:4。
- B. 聖書はすべて、神の息吹かれたものです。このゆえに、聖書の言葉は、神の口から出る言葉です——Ⅱテモテ 3:16。
- C. 聖書は神の御言として、神とキリストとその霊と命との具体化です——ヨハネ 1:1, 4. 6:63. 14:6, 17, 20. 15:7. Iヨハネ 1:1. ローマ 8:2。
- D. 聖書は神の御言として、三つの要素から、すなわち、キリスト、キリストの死、キリストの復活から成っています——ピリピ 1:20-21. 2:16. 3:10-11. 4:13。
- E. 主イエスの語った言葉は霊であり、命です——ヨハネ 6:63：
 - 1. 主の語った言葉は、命の霊の具体化です——ローマ 8:2。
 - 2. キリストは今、復活の中で命を与える霊であり、その霊は彼の言葉の中に具体化されています——Iコリント 15:45 後半. IIコリント 3:17. ヨハネ 1:1, 4. 6:63。
 - 3. わたしたちは霊を活用することによって彼の言葉を受けるとき、その霊、すなわち、命を得ます——ヨハネ 5:39-40。
- F. 神の言葉は食物としての神聖な供給であって、わたしたちを養います——申 8:3. マタイ 4:4：
 - 1. 神の言葉に関する神聖な概念は、神の言葉が、わたしたちが養われる食物であるというものです——Iコリント 3:1-2 前半. ヘブル 5:12-14。
 - 2. 神の言葉は、わたしたちの食物としての神ご自身です——ヨハネ 1:1, 4, 14. 6:33, 51, 57。
 - 3. 主イエスは、聖書の神の言葉をご自身のパンとして取り、その言葉によって生きました——マタイ 4:4。
 - 4. 神の口から出るすべての言葉は霊の食物であって、わたしたちを養います。この食物によって、わたしたちは生きなければなりません——ヨハネ 6:51, 57。
 - 5. 神は、わたしたちの食物としての言葉を通して、ご自身の豊富をわたしたちの内なる存在の中へと分与します。それは、わたしたちがご自身の

要素をもって構成されるためです。

- G. 神の言葉は、聖書の啓示全体によれば、わたしたちが食べるのに良く、わたしたちは神の言葉を食べる必要があります——詩 119:103. マタイ 4:4. ヘブル 5:12-14. I ペテロ 2:2-3:
1. 神は、人がご自身を食べ、消化し、吸収することを願っています——ヨハネ 6:50-51, 57:
 - a. 食べることは、わたしたちの外側にある物に触れて、それをわたしたちの中へと受け入れることです。その結果として、それは最終的に、わたしたちの構成となります——創 2:16-17。
 - b. 食べることは、食物をわたしたちの中へと取り入れることです。それは、食物がわたしたちの体の中へと有機的に吸収されるためです——ヨハネ 6:48, 50。
 - c. 食物としての神の言葉は、わたしたちによって食べられ、消化され、吸収されて、実際にわたしたちとなります。この事は、言葉がわたしたちの構成となることです——マタイ 4:4. コロサイ 3:16。
 2. わたしたちは聖書を読むときはいつでも、命を得るために主に来て、キリストご自身である命のパンを食べなければなりません——ヨハネ 5:39-40. 6:48, 50-51, 57。
 3. 言葉としての主を食べることは、彼をわたしたちの命の供給として取り入れることです。彼はわたしたちが食べるための命のパンです——ヨハネ 6:48, 51。
 4. 主を食べる方法は、御言を祈ることです。神の御言を祈り読みすることは、わたしたちの霊を活用して、言葉を食べることです——エペソ 6:17-18。
 5. わたしたちは神の言葉を食べれば食べるほど、ますますキリストで構成されて、浸透されます——ガラテヤ 4:19. エペソ 3:17. コロサイ 3:4, 10-11。
 6. わたしたちは主イエスを食べる時、正常な霊的消化を持つ必要があります——エゼキエル 2:8 - 3:3. エレミヤ 15:16. 啓 10:9-10:
 - a. わたしたちに良い消化があるなら、食物のための通り道があり、食物はわたしたちの内側の存在のあらゆる部分に入り込みます——エペソ 3:16-17 前半。
 - b. 消化不良であるとは、霊の食物としてのキリストが、わたしたちの内側の各部分に入り込む道がないことを意味します——ヘブル 3:12-13, 15. 4:2。
 - c. わたしたちは、全存在と内側のすべての部分を主に開き続ける必要が

あります。それは、霊の食物がわたしたちの内側で通り道を得るためです。もしわたしたちがこの事を行なうなら、正常な消化と吸収を持ち、霊の養いとしてのキリストを吸収し、キリストはわたしたちの構成要素となります——コロサイ 3:4, 10-11。

7. わたしたちは、自分が食べるものとなるので、もしわたしたちが神をわたしたちの食物として食べるなら、神と一になり、さらには神格においてではなく、命と性質において神となります——ヨハネ 1:1, 14, 6:32-33, 48, 51, 57。

II. 「あなたの言葉はわたしにとって、心の楽しみ、また喜びとなりました」
——エレミヤ 15:16 後半：

- A. エレミヤは他のすべての預言者たちよりも苦しみました。神の言葉を見いだして、それを食べたときはいつでも、彼の心の中で楽しみ、また喜びを持ちました——エレミヤ 15:16。
- B. エレミヤ書第 15 章 16 節の「なりました」という言葉が示しているのは、楽しみと喜びは、神の言葉が食べられ、消化され、吸収されて、わたしたちの内なる存在の中へと構成し込まれた結果、主の喜びがわたしたちの喜びとなったということです——ヨハネ 15:7, 10-11：
1. わたしたちが神の言葉を食べるとき、神の言葉はわたしたちの心の楽しみ、また喜びとなります——エレミヤ 15:16。
 2. 神の言葉がわたしたちの中へと取り入れられて、わたしたちの内側の各部分の中へと吸収された後、これらの言葉は、内側で喜びとなり、また外側で楽しみとなります。
- C. 神は喜びの神であり、わたしたちにご自身を享受してもらいたいのです——ネヘミヤ 8:10. 詩 36:8：
1. 神の御言において啓示されている甘美な思想は、神がキリストにあって、ご自身を恵みとしてわたしたちに与えて、わたしたちの享受となったということです——ヨハネ 1:14, 16-17. II コリント 13:14。
 2. 聖書において神と人との関係が最初に述べられた時、神はご自身を食物として人に提示しました。この事が示しているのは、神の願いとは、ご自身をわたしたちに与えて、わたしたちの享受となることであるということです——創 2:7, 9. 詩 16:11. エレミヤ 15:16。
- D. ローマ第 14 章 17 節は「聖霊の中の喜び」について語っています：
1. この節は、その霊が喜びと関係があることを示しています。喜びはその霊の属性です——参照、I テサロニケ 1:6。

2. 喜びはその霊の実でもあります。内住する霊は、喜びを信者たちに与えます——ガラテヤ 5:22。
3. わたしたちはその霊の中にいるとき、喜びに満ちあふれ、とても喜びに満ちあふれているので、主に歌い、また大声で主を賛美します——参照、使徒 16:25。
4. わたしたちは、「言葉では言い尽くせない、栄光に満ちた喜びをもって歓喜」することができます——I ペテロ 1:8 :
 - a. 栄光に満ちた喜びは、栄光としての主の中に浸された喜びです。こういうわけで、この喜びは神の表現に満ちています——使徒 7:2, 55. I ペテロ 5:10. II ペテロ 1:3。
 - b. わたしたちは栄光に浸されている喜びをもって歓喜しています——I ペテロ 1:8。

III. 「キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ」——コロサイ 3:16 :

A. キリストの言は、キリストの語った言葉です——ヨハネ 6:63 :

1. 神の新約エコノミーにおいて、神は御子の中で語ります——ヘブル 1:1-2。
2. 御子は、福音書でご自身によって語るだけでなく、使徒行伝、書簡、啓示録で、ご自身の肢体である使徒たちと預言者たちを通して語ります。これらすべての語りかけは、キリストの言と考えることができます。
3. キリストの言は新約全体を含んでおり、わたしたちはこの言をもって満たされる必要があります——コロサイ 3:16。

B. キリストの言は、実はキリストのパーソンです——コロサイ 3:16. ヨハネ 15:4, 7 :

1. パウロは、キリストの言を人格化していると言ってもよいでしょう。パウロは、この言葉を、生けるパーソンであるかのように、わたしたちの内に住ませるようにとわたしたちに告げています——コロサイ 3:16. 参照、エペソ 3:17。
2. まず、わたしたちはキリストをわたしたちの命として持ちます。次に、わたしたちは人格化された彼の生ける言葉を、キリストのパーソンとしてわたしたちの内に住ませます——コロサイ 3:4, 16。
3. キリストの言はわたしたちの内に住むことができるので、必ず生けるパーソンです。ですから、キリストの言をわたしたちの内に住ませることが示しているのは、わたしたちが生けるパーソンであるキリストご自身に、わたしたちの内に住んでいただくということです——コロサイ

3:16. 1:27。

- C. わたしたちは、キリストの言をわたしたちの内に豊かに住ませ、わたしたちの存在の中で第一位を得ていただく必要があります——コロサイ 3:16:
1. 「[[住ま]わせ(let)」という言葉は重要です。キリストの言はすでに存在しているのですが、わたしたちは、キリストの言を内側で活動させる必要があります。
 2. キリストの言がわたしたちの内に豊かに住むことは、キリストの言が豊かな方法でわたしたちに居住し、内住することを意味します——コロサイ 3:16。
 3. 「住む」と訳されたギリシャ語は、文字どおりには、「家にいること」、「内住すること」、「居住すること」を意味します：
 - a. この事が示しているのは、わたしたちがキリストの言にわたしたちの内に住んでいただき、居住していただき、わたしたちの中にホームを造っていただくべきであるということです——コロサイ 3:16。
 - b. 主の言葉は、わたしたちの内側に十分な余地を持たなければなりません。それは、主の言が活動して、キリストの豊富をわたしたちの中へと供給するためです——エペソ 3:8。
 4. キリストの言は自由が与えられて、わたしたちの内側で活動し、わたしたちに居住し、わたしたちの中にホームを造るべきです——コロサイ 3:16。
- D. わたしたちは、キリストの言をわたしたちの内に住ませる必要があります。それは、わたしたちが、わたしたちの内側で活動している、またキリストの豊富をわたしたちの存在の中へと供給している神の言葉の機能を経験するためです——エペソ 3:8:
1. 神の言葉は、わたしたちを照らし(詩 119:105, 130)、養い(マタイ 4:4, I テモテ 4:6)、わたしたちを潤してわたしたちの渴きをいやします(イザヤ 55:8-11)。
 2. 神の言葉は、わたしたちを強め(I ヨハネ 2:14, 箴 4:20-22)、洗い(エペソ 5:26)、建造します(使徒 20:32)。
 3. 神の言葉は、わたしたちを聖別することによって(ヨハネ 17:17)、わたしたちを完全な者にし、完成し(II テモテ 3:15-17)、成就します。
 4. わたしたちは、キリストの言にわたしたちに居住していただくことによって、神・人となって、神の属性の実際であるキリストで満たされることが出来ます——コロサイ 3:16-21, ピリピ 4:5-8。